

「東川町地域公共交通計画」(案)パブリックコメント(意見募集)の結果について

番号	寄せられたご意見等	ご意見に対する考え方	対応方針
1-1	<p>【施策5について】 第一自治振興区に住んでいます。買い物はほぼ旭川に行くので、町内中心部へ向うより共栄バスセンターまでの足があると助かります。 頻度は低いので、見守りカーの利用時間や利用エリアの拡大を望みます。 具体的には、旭川駅からJRを利用するときに、バスの始発と最終に接続でき、西10号までではなく共栄バスセンターまで送迎していただけると助かります。特に、冬場は助かります。 年に数回のことなので、規定を設けずにイレギュラー対応でも構いません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策5の中で、町内交通のダイヤ検討と、事業者との協議によりバス等ダイヤの接続を行いたく考えていますが、各運行事業者と協議を重ねていく考えです。 ・みまもりカーは「共助」として位置づけをしていますが、自助、公助での移動が困難な場合に限り利用可能と定め、運営者の負担を減らし持続的な運営の仕方を探ることとしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部、特に道草館での接続により、郡部・町外・中心部での生活の足の確立を図る。 ・これからの交通の協調を随時図ることで、町民の利便性向上につなげるほか、町内の公共交通資源の有効的な活用を図ります。
1-2	<p>【施策6について】 観光客は空港や駅でレンタカーを借ります。 わざわざ公共交通で町まで来て、町で車を借りる人はいないと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度にゼロカーボンの観点、海外や町外からの長期滞在者などを対象に実証実験を実施したところ、利用ニーズのあることが確認できたことから、今後は旅行者や一般町民など対象者の枠を広げながら検討を進めていくことを想定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の回遊性を高める、交通資源の有効活用などの視点から事業の有効性を検証し、状況の変化に即した手法と手段を用いた対応を図っていきます。
1-3	<p>【施策8について】 EVユーザーの声を集めてはどうですか。 より多角的な視点で多くの所見を得られるかもしれません。 合わせて、数値データがあると客観的な判断ができると思います。 私も40kWhバッテリーのリーフに乗っているので、メリットとデメリットを記します。</p> <p>●メリット 排気ガスを出さないで、環境にやさしく温暖化防止につながる。 エンジンの音や振動がないので、静かで乗り心地がいい。 自宅で充電すれば安価で済み電費がいい。夜間割引電力で充電すると約500円で120km程度走る。日中は太陽光発電で充電しているので0円。 暖気運転はほとんど不要。すぐにエアコンがきく。 急加速や高速運転をしなくなる。充電量の減り方に敏感になるため、エコな走りをするようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EV車両はご指摘のとおり長所と短所があると思いますが、脱炭素を目指しCo2削減の目標達成のためにも、ユーザーの方に聞いてみるなど色々な形でデータ収集に努めたく思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車入替では、短距離長距離走行の観点からも、EV車両の他に、ハイブリッド車を含めた形で最適な選択により脱炭素化に資するモビリティ導入を検討いたします。

番号	寄せられたご意見等	ご意見に対する考え方	対応方針
	<p>●デメリット</p> <p>40kWh バッテリーでは満充電での航続距離は通常期 250km 程度。冬は暖房を使うのでその半分程度になる。さらに航続距離を求めるならば 60kWh や 90kWh の EV もあり、登板性能を求めるならば SUV や 4WD もある。</p> <p>長距離移動の途中で充電量が 20%程度になると急速充電（30 分）をするが、充電量は 70%程度に止まる。さらに 30 分充電すれば 100%になるわけではない。バッテリーに負荷をかけないように 80%前後から充電量が下がり最終的には普通充電並みまで落ちるため相当な時間がかかる。出先で満充電にするには、一晩かけて普通充電をする必要がある。これが長距離移動には不向きな所以。特に、道東・道北方面は急速充電のスポットも少なく難儀する。</p> <p>冬は電費が悪くなる。旭川まで往復 16km の買い物に出かけると、消費電力は通常期では 3kWh 弱で済むが、冬期は 6kWh 弱になる。（充電消費量が 6-7%から 14-15%に増える）</p> <p>冬は急速充電を使用しないほうがいい。バッテリーの温度が低いと充電量が極端に減るため。通常期は 30 分で 18-19kWh 充電できるが、おそらくその 60%程度だと推測する。そもそもガソリンより高くつくのがわかっているので冬は使用したことがない。</p> <p>以上を踏まえても、次に車を買替えるときも EV を選ぶと思います。EV より環境性能が高い車が出てきたらそれにするかもしれません。ゼロカーボンにつながるならば、上記のデメリットくらいは我慢します。</p>		
1-4	<p>【その他の施策について】</p> <p>今回の施策にはありませんでしたが、自動運転バスの導入を前向きに検討してください。もうひとつは、町が運営母体になりライドシェアを導入することも検討してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスは令和 4 年度に新たな交通サービスである自動運転車両の、積雪寒冷地における導入の可能性についての実証実験を行いました。現状において安定した運行については、この先においても検証が必要であるとの認識をしています。 ライドシェアについては、町内で実施する共助交通事業である「みまもりカー」の制度を踏まえて、検討を進めていくことを想定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスの導入については、状況の変化に即した手法と手段を用いた対応を図っていきます。 ライドシェアの導入については、施策③「共助交通の運営方法・管理体制の見直し」に包含するものと考えます。